

## 季節にあわせた催し物を開催！！

12月といえばクリスマス。クリスマスにあわせて様々なイベントを開催しました。

今年はフォトスポットが初登場しました。図書館入口前の壁面に子どもたちが色をつけたぬり絵を三角に配置して大きなツリーに見立てました。

また、その前にはサンタとトナカイになれる顔出しパネルを設置し、多くの人々が撮影を行っていました。その反対側にあるクリスマスツリーには、プレゼントの箱も飾られていますが、間違えて箱を開けてしまいそうになる子も見受けられました。



12月14日(日)は小川京子さんを講師に迎えて「手作りパン教室」を開催し、参加者12名がクリスマスリースに見立てたチョコレートパンを焼き上げました。

発酵、成形、伸ばし、塗布、ねじりなどいくつもの工程を経て、オーブンでの焼きに入りました。

焼き上がったパンにヒョウラギとリボンで飾り付けを行うと、まさにオーナメントのような見栄えに「まるでホテルで売っているパンみたい。」「食べるのがもったいない。」といった感想が聞こえ、出来栄えに満足した様子でした。

12月20日(土)は「クリスマスミュージックフェスタ」を開催しました。

第1部では成田市杜の少年少女合唱団が2曲を歌いあげたのち、成田ジュニア・ストリングオーケストラ&アンサンブル NOW が童謡「ふるさと」



や「銀河鉄道999」など4曲を演奏しました。バイオリンなどの弦楽器の音色により、クリスマスのムードに花を添えました。第2部では水嶋友里さんのピアノソロ演奏ののち、水嶋さんのピアノ伴奏で齋藤菜々さんがイタリアオペラ、日本歌曲、クリスマスソングを歌い上げました。迫力の中にも繊細さを感じる歌声と丁寧かつ温かなピアノ伴奏に心が洗われるようでした。



クリスマスの次はお正月。12月21日(日)、1階サロンの一角で「門松づくり」が行われました。開館から毎年行っている実演。今年も小川新太郎さんにご協力いただき、ペール缶に藁をまき、160・140・120センチに切った竹をそのペール缶に立てる自作の門松。通りがかりの子どもたちが興味津々で立ち止まり見入っていました。1月15日まで飾り、歳神様を迎え入れるための目印としての役目を終えました。

## 自作のダーラナホースで幸せが運ばれる

1月10日・17日・31日、2月14日と4日かけて、「はじめての木彫講座」を開催しました。5年連続での開催となりますが、毎年はやい段階で定員になる人気の講座になっています。

関口恵美さんに講師をお願いし、北欧の伝統的な木彫りの民芸品で幸せを運ぶ馬である「ダーラナホース」を彫ります。今回は桶を使い、木目に沿って削っていき、やすりがけを行っていきます。最初は苦戦していた参加者も彫刻刀の扱いに慣れ、進行していき個性の出る作品が出来上がりました。



## 男性なら誰でも気楽に参加できる料理教室

1月18日(日)、2月15日(日)、キッチンスタジオで「男の料理教室」を実施しました。料理好きでレパートリーを増やしたい方、料理は全くせず食べる専門だったけど自分でも作れるようになりたい初心者の方、どなたでも参加できます。

1月は和食、2月は洋食を作りましたが、みなさん手際がよく、想定していた時間よりも早く進むほどでした。味も美味しく仕上がりに満足そうでした。

3月は中華を作る予定です。



1月11日(日)には、「もりんぴあ ザ・お正月」を開催しました。「春の海」に代表されるように琴の演奏と新年の笑い初めはもりんぴあからということで寄席を開催しました。



成田国際高校 箏曲部による演奏は定番曲「春の海」のほか、J-POPも演奏し観客は驚きの表情を見せていました。

成田国際高校 箏曲部は県大会で最優秀賞を獲得するほどの実力派。演奏後は拍手が鳴り止まないほどでした。

千葉大学 落語研究会による寄席では、体調不良により1名が欠席となったものの4名の噺家により、大学生らしいフレッシュな語りが見られ、プロ顔負けの演じ分けの落語に会場から温かく明るい笑い声が蔓延していました。



1月4日から22日まで図書館前の壁面とサロン及び受付の吹き抜け部分に公津の杜中学校 書道部部員の書いた「謹賀新年」「一期一会」、嵐の歌詞が書かれた作品を展示しました。大迫力の作品に目を奪われました。

## 図書館だより

### 展示コーナーよりご紹介します

「ゆっくり休めてますか -疲労や不調との付き合い方・対処の仕方-」の展示(2025年12月~2026年2月)では、リフレッシュやセルフケアの仕方、疲労や心身の不調への対処の仕方などに関する本を集め、たくさんの利用をいただきました。その中から、各メディアで取り上げられ、疲労や休養への人々の関心の高さを印象付けた本を1冊紹介します。貸出中の場合は予約もできますので、窓口でご相談ください。

『休養学』片野秀樹／著 東洋経済新報社 2024年  
疲れをとるためにはどうやって休めば良いか、知っていますか。この本では、「なぜ疲れるのか」と「どう休めば良いのか」を解説しています。ただ寝るだけでは良い休息とは言えません。毎日の疲れを引きずる生活から抜け出しましょう。



### 昭和にタイムスリップ?名曲たちを歌う

2月17日(火)MORI×MORIホールで「昭和歌謡コンサート」を実施しました。江上兄弟の歌と細貝椋さん、武田圭司さんの演奏により「学生時代」「ブルーライト・ヨコハマ」「いい日旅立ち」「川の流れるように」など昭和の名曲たちを披露しました。前売り券で完売するほどの人気ぶり。開催が決まる前から次はいつなの?と多く問合せをいただいていた。



### 縄文時代の成田を学ぶ歴史深掘ゼミ開講

2月15日(日)MORI×MORIホールで「もりんぴあ大学 歴史深掘ゼミ」を開講しました。成田市文化国際課 副主幹 寺里和久氏に講師をお願いし、「成田市の縄文時代」というテーマでお話していただきました。縄文時代のはじまり、発達などを講話し、途中土器を手に取りながら説明を行い、縄文時代の理解を深めました。



## なかよしひろばだより

### 成田市児童ふれあい交流事業「親子でチャレンジ!楽しく運動遊び」からだを動かす楽しさを体験しました

2月15日にMORI×MORIホールで、東京女子体育大学講師で運動遊び専任保育士の堀内りょうすけ先生による「運動遊び」を開催しました。

ママパパのからだで作ったトンネルをくぐったり、音楽に合わせて親子で歩いたり、親子でふれあってからだをたくさん動かして楽しみました。また、スカーフでできた“虹の橋”の下を走ったり、パラバルーンを使ったりと、広いホールならではの遊びも楽しみました。遊びの中に色々な動きが入っていて、子どもだけでなくママパパにも良い運動となったようでした。どちらの回にも東京女子体育大学の学生のお姉さんたちがダンス、バトミントン、器械体操の技を披露、それぞれの競技のミニ体験もありました。子どもたちはワクワクしながら初めて体験するスポーツにトライしていました。

最後にはりょうすけ先生のミニ講座があり、遊びを通して楽しみながら運動能力を培う大切さや、親子で一緒に運動を楽しむと運動が好きになることなどを話してくれました。「運動遊び」を体験したことで、より実感できたのではないのでしょうか。



### おまけの1枚

2月3日の節分、図書館入口前の壁にて鬼のぬり絵の展示と「鬼たいじゲーム」を実施しました。鬼の的に豆を当てて、豆の数でお菓子をプレゼントしました。「鬼は外!福は内!」と大きな声を出しながら的をめがけて投げて楽しんでいました。もりんぴあ内の鬼は退治できたことでしょう。



### 編集後記

例年、妻と娘たちは年末年始義実家に帰省する。私は1人お留守番になることが多い。今年は娘たちが高校受験を控えていたため帰省はなし。新年を家族全員成田で過ごすのは、いつ以来か?嬉しい半面、1人でゆっくりできる時間をとれなかったさみしさが...どっちの気持ちが大きいかはヒミツ♡(K)

昨年10月に次女が挙式をあげた。披露宴当日、新婦の父として参列し感動。しかし、お色直し後、事態は一変。新郎がビールサーバーを背負って登場し、各テーブルへビールを振る舞う演出。ところが、新婦父には、ノズルからビールが強噴射しモーニングが泡だらけになる演出...計画どおりか(笑)(T)

公津の杜コミュニティセンター  
(指定管理者 アクティオ株式会社)  
発行人:竹尾 裕之 編集:鹿嶋 聡明  
〒286-0048 千葉県成田市公津の杜4丁目8番地  
TEL:0476-27-5252 FAX:0476-27-5353  
E-mail:info-kozu@morinpiakozu.jp HP:http://morinpiakozu.jp/

もりんぴあ  
こうづ  
Morinpia Kozu